



NO. 254

2014. 8. 15

社会福祉法人 大阪市手をつなぐ育成会
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センターB1F
発行責任者 小泉 いと子
TEL 06(6765)5621 FAX 06(6765)5623
<http://city-osaka-ikuseikai.or.jp>
定価 10円

大阪市手をつなぐ育成会 法人理念

障がいのある人が 安心して 心豊かに すごせるように

事業所協議会研修に参加して

ふりーすぺーすSUN 高島 昌太郎

平成26年7月11日(金)大阪市手をつなぐ育成会事業所協議会主催の研修が、講師に大阪市発達障がい者支援センターエルム大阪所長の井上芳子氏をお招きし、「発達障がい者の理解と支援～自閉症を中心に～」のテーマで大阪市立社会福祉センターにて開催されました。

まず、自閉症スペクトラム障がい(ASD)の方たちが困ること、苦手なことを説明していただきました。

- ・急な変更への対応は苦手
- ・優先順位をつけるのが苦手
- ・あいまいな指示、長い説明、複雑な指示は苦手

事例として利用者様へ対して「今は無理なので、後で来て下さい」というあいまいな声掛けを具体的に「どんな風に伝えましょうか?」と研修参加者全員で考えました。

発表では「今日の昼休みの12時30分に一階の事務所に来て下さい」という具体的な伝え方の例が出ました。

日々の支援をさせていただくなかで、利用者様それぞれに合った、伝わりやすい方法を考え、検討し、支援者が統一し、具体的にお伝えする大切さを学ばせていただきました。

次に「見てわかる」ための工夫＝視覚的構造化についての説明をしていただきました。

先のことが分からなければ誰でもすごく不安になり、落ち着きがなくなります。

その不安感を安心感に変える為には、視覚的に絵や文字、写真、タイムタイマーなどを活用し、「見てわかる」形で事前にスケジュールを利用者様にお伝えし、見通しが持てるように環境を整える事が大切だと教

えていただきました。

環境を整える際に重要なこととして、次のように述べられていました。

☆落ち着いて過ごせる環境(ひとりになれる)

☆構造化された安心して過ごせる環境

- ・適度な活動
- ・安定した日課の流れと見通し
- ☆周囲の伝え方、かかわり方の整理→一貫した対応
- ・興味のある活動、課題
- ・できることが増えていくこと
- ・嫌なこと、できないこと、苦手なことが強要されない
- ・その他、ストレスに対する配慮

自閉症の特徴とともに、個々の方の特徴を把握することも大切なことです。

今回の研修を受け、支援者が利用者様ひとりひとりに寄り添い、その方の長所が生きる支援をさせていただくことで、その方の出来ることが増え、社会生活が豊かになることに繋がると感じました。

最後になりましたが、井上先生を始め、関係者の皆様方、大変有意義で実践的な研修を開催していただき、ありがとうございました。

素晴らしい時間をありがとうございました。

